



# 翠檜

あす なる

日の出町立大久野中学校  
学校だより 第 8 号  
令和5年12月1日

教育目標 「自ら進んで学ぼう 思いやりの心 感動する心をもとう たくましく 心とからだを鍛えよう」  
あすなる物語（井上靖） 「あすは檜になろう、あすは檜になろうと一生懸命考えている木よ」



## 【百歌繚乱～思いを乗せて、みんなで奏でる～】

校長 高橋 正充

多くの来賓、保護者の皆様に来場していただき、無事に音楽会を終えることができました。昨年度から一新した大久野中の音楽会。プログラムは全校合唱「明日の空へ」で開幕し「音楽部」の合唱、今回から各クラス曲・学年曲と続きます。閉会式の中で校歌に続き、会場の皆さんと一緒に「ふるさと」の全体合唱で閉幕となります。

一新した大久野中の音楽会ですが、「**音楽での授業の学習成果の発表**」の場とするとともに、「**合唱を通して学年・学校全体のつながりを深める**」目的を掲げました。

6月14日に各学年候補曲から学年曲が、6月28日にクラス候補曲から各クラス曲が決定しました。音楽の授業時間は、1年生は2週で3時間、2・3年生は週に1時間しかありません。実際に1学期末にどの学年も学年曲を2回練習し、クラス曲は2学期に入ってからのスタートでした。9月末の中間考査までに音楽の授業は4～5回、その後10月5日からやっと本格的な音楽会練習（放課後練習）が始まりました。3年生は、この間に修学旅行があり10月18日のリハーサルまでの放課後練習は5回、リハーサル後は本番までに3回の練習しかありませんでした。本校では実行委員と音楽科教員で練習内容を決定しますが、朝練習、昼練習はありません。本当に音楽の授業と、15時45分までの放課後練習のみに集中して合唱のハーモニーを作り上げていきます。



音楽会実行委員

運動の得意な生徒は、体育祭がワクワクすることでしょう。歌うのが得意な生徒は音楽会が楽しみなのでしょう。しかし、どちらも一人では作り上げられません。全員の協力により作り上げられたものは、見ている人に感動を与えます。歌うのが苦手な仲間や、自信のない仲間と一緒に心をつなげ、歌いやすい雰囲気を作って一人より二人、二人より三人と次々つながり、「**みんなで奏でる**」ところに音楽会の魅力があります。

音楽の授業では、楽譜を忠実に歌唱するよう丁寧に指導してきました。人数は少ない中、各パートに分かれて作詞者・作曲者の思いを考え、情景を理解することで更に歌唱の深さやハーモニーを作ります。6月に選出された実行委員をはじめ、指揮者、伴奏者、紹介文発表者は特に準備を重ねてきました。また、不足の部分を自主練習した生徒もいたのではないのでしょうか。音楽会担当の先生方や実行委員会を指導してくださった先生方も裏で色々動いていました。キララホールとの打ち合わせ。バス会社へ増便の申し込み。DVD製作に向けての打ち合わせ。鑑賞教室団体との打ち合わせ。来年度のホール借用抽選や費用の払い込み。PTAへの受付依頼。挙げていくと切りがありません。たくさんの方で支えられている大久野中音楽会は、勝敗にこだわるコンクールではなく、生徒たちが作り上げた「**自分たちの出来栄を披露する**」立派な会となったことは言うまでもありません。



百歌繚乱



定期演奏会

**アンサンブル・ポエム**は、東京西多摩（あきる野市、日の出町周辺）を拠点に活動している合唱団です。**代表の浜中 勝様ご夫妻**を音楽会にお招きしました。来年、本校の音楽部もアンサンブル・ポエムの演奏会に参加させていただき、大久野中卒業生の作詞・作曲した「生きてゆく」を一緒に歌います。以下、音楽会のご感想をいただきました。

冒頭の合唱をよく理解した高橋先生の挨拶で今日の音楽会の方向付けがなされました。加えて鑑賞教室のアンサンブルブリランテの演奏が各プレイヤーの人柄と相まって音楽の美しさ、楽しさを聞き手と共有しようと訴えかけてきてくれたので、その演奏に大変親しみをもてました。来年5月19日私達アンサンブル・ポエムの演奏会で**大久野中出身の田中拓都君の「生きてゆく」**を一緒に歌うことになった音楽部の演奏に注目しましたが、上田先生の指揮の下、基礎がしっかりし「Chessboard」「予感」の雰囲気をよく出されたアンサンブルだったので合わせるのが凄く楽しみになりました。クラス合唱の個性が学年合唱に変わると個性と個性がまじりあって、また新しい個性が生まれる生徒さんたちは合唱の深さを自ら体験されました。順位を付けない音楽会。一人一人自由に色々表現があっていい、それを楽しむ音楽会。そのことで醸し出す温かい雰囲気。「百歌繚乱～思いを乗せてみんなで奏でる～」となんとも凄いスローガンを掲げたものだと思いますが、正しく百歌繚乱でした。  
アンサンブル・ポエム 浜中 勝 & 富子

## スマイルルームの開設 11月24日～ (旧第二会議室)



「スマイルルーム」は、生徒が教室に居づらくなったり、落ち着かなくなったりしたときなどに利用できる、校内の安心して落ち着ける居場所です。また、学校、教室へ入りにくい場合のステップとしても利用できます。**個別のブース**に区切られていたり、**大きなテーブル**があったり、**上履きを脱いで利用するスペース**等どこを利用しても大丈夫です。利用状況により必要な生徒には**スマイルプラン**(個別の計画)を

学年、保護者、生徒の意向を踏まえながら校内特別支援委員会で作成し、最適な時間や、利用方法、今後の目標等を生徒に提示します。

### 【スマイルルームの利用について】

- 一時的な居場所として利用し、最終的に教室に戻ることを目指します。
- スマイルルームに行く場合は、必ず学年、または教科の先生に伝えます。
- 生徒が自分で決めた活動を行います。(学習、クールダウン等)
- 学校の時程に関わらずいつでも利用が可能です。
- 給食時の利用も可能です。(給食は各クラスから持ってくる)
- 利用日は「**月・火・金**」ですが、支援員さんがお休みの場合は原則、閉室します。
- 受付で支援員さんから利用シート(学年・組・名前・入室時間・活動内容・感想等を記入)を受け取ります
- 帰るときに利用シートを支援員さんへ提出します。



個別ブース

## 海外支援のボランティア活動



1996年「**グループホーム・リンデンハウス**」で地域交流バザーを行い、売れ残った品を見て「**捨てるのもったいないね**」の何気ない一言から、東南アジア(ラオス共和国)への衣類支援がスタート。実際に届けに行き、もので溢(あふ)れた豊かな日本では想像がつかない、着るものもままならない恵まれない人々の光景があったそうです。

衣類支援のボランティアとして10月28日に、生徒会本部の生徒も参加してくれました。多くのご厚意で集まった衣類の仕分け作業と、ラオスへ送るための梱包作業に取り組んでくれました。月に一度のボランティア活動に皆さんも手分けをして参加し、お手伝いしてみましょ。



## 12月の主な予定

- 1日(金) 朝礼 安全指導
- 4日(月) 三者面談(3年) ~8日
- 10日(日) 町PTA 講演会
- 11日(月) 避難訓練
- 15日(金) 入試相談(3年)
- 21日(木) 給食終了
- 22日(金) 大掃除 給×
- 25日(月) 終業式 給×
- 26日(火) 冬季休業始~1月8日
- 29日(金) 学校閉庁日~1月3日
- 1月9日(火) 始業式